

平成29年度事務事業評価シート

No.286

平成29年6月28日作成

事業番号	767	担当課等	学校教育課								
事務事業名	学校支援ボランティア活用事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	地域の方々にかかわっていただき、地域との連携を図り、児童を育てる教育環境を推進する。				
対象	地域のボランティア				
内容	授業における教師のサポートや、学校図書館の蔵書整理などに地域のボランティアに携わっていただく。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト	事業費	107,643	48,195	112,000		
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費	107,643	48,195	112,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	107,643	48,195	112,000		
	財源合計	107,643	48,195	112,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	学校の様々な場面において地域ボランティアにかかわってもらうことで、学校環境の維持向上を図ることができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	地域の方が多く学校現場に接してもらうことで、地域と学習の連携が図られるとともに、教育現場の透明性を図ることができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	学校環境の維持向上及び透明性が確保されることで児童・生徒の学校生活の向上につながる。
平成28年度までの自己評価または改善点	特になし		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	地域の方々との関わりを重視している事業であるため。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	特になし	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	学校環境の維持向上をボランティアの協力をいただき継続的に図る必要がある。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.287

平成29年6月28日作成

事業番号	1050	担当課等	学校教育課								
事務事業名	普通救命講習会開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	総合学習の時間で普通救急救命講習会を開催し命の大切さを学ぶ。				
対象	湯河原中学校2年生				
内容	普通救急救命講習会(人口呼吸、AEDの取り扱い等)を開催し、不測の事態に備えられるようにする。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
コスト	事業費	77,340	82,140	83,000	
	人件費				
	常勤職員				
	非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	77,340	82,140	83,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	77,340	82,140	83,000	
	財源合計	77,340	82,140	83,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	総合学習の時間を使い実施している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	消防本部の協力を得て実施している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	中学2年生全員を受講対象としている。

平成28年度までの自己評価または改善点	特になし
---------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	講師は町消防が行うため
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	人工呼吸やAEDの使い方を学ぶことによって、不測の事態に備えるとともに命の大切さを学ぶことができる。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.288

平成29年6月28日作成

事業番号	1055	担当課等	学校教育課								
事務事業名	生徒用机・椅子・教卓等整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学 び豊かな心を育 むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	生徒用机・椅子・教卓等の学校用品を更新し、生徒が安全・安心して学習できる環境を整備する。				
対象	湯河原中学校				
内容	生徒用机、椅子、教卓等の修繕及び更新。 学校用品は、机の天板を張り替える等修繕して使用しており、修繕不能となるものを更新している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成27年度(決算)		平成28年度(決算)		平成29年度(見込)		
	事業費	441,720		585,792		536,000	
コスト 人件費	常勤職員						
	非常勤職員等						
	人件費合計	0		0		0	
総事業費	441,720		585,792		536,000		
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	441,720		585,792		536,000	
	財源合計	441,720		585,792		536,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成27年度	平成28年度	目標値	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	生徒が使用する机等の更新を図るため必要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	長年の使用により破損する机等があるため、定期的に更新している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町内の中学生は受益の機会が均等である。
平成28年度までの自己評価または改善点	特になし		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	机、いす等の備品購入であるため。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	現状維持。児童数の推移を注視していく。	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	破損したり古くなった机・椅子を定期的に更新していく。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に実施すること。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.289

平成29年6月28日作成

事業番号	1104	担当課等	学校教育課								
事務事業名	防災備蓄用品購入事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学 び豊かな心を育 むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	緊急時における生徒の安全確保を図るため、毎年防災備蓄品を順次整備している。				
対象	湯河原中学校				
内容	備蓄用食料、飲料水、防災用備品を整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)	
コスト	事業費	289,375	344,196	229,000	
	人件費				
	常勤職員				
	非常勤職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	289,375	344,196	229,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	289,375	344,196	229,000	
	財源合計	289,375	344,196	229,000	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	緊急時における生徒の安全確保を図るため実施する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎年、防災備蓄品を順次整備している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	屋上避難や、教室に待機する際に生徒の安全確保が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	湯河原中学校生徒全員に対して防災備蓄品を整備している。

平成28年度までの自己評価または改善点	平成28年度はビスケット、ミネラルウォーター、発電機を整備した。
---------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	防災備蓄用品の購入
平成29年度の見直し及び改善 (実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	特になし	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	防災備蓄用品は、継続的に整備していく必要がある。
------	----------	--------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.290

平成29年6月28日作成

事業番号	403	担当課等	学校教育課								
事務事業名	図書整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学 び豊かな心を育 むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	文部科学省が推進してきた学校図書館整備第4次5ヶ年計画が示されており、今後も引き続き学校図書館の充実を図る。				
対象	学校図書館				
内容	学校図書を購入し充実を図る。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト	事業費	719,985	684,992	720,000		
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費	719,985	684,992	720,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	719,985	684,992	720,000		
	財源合計	719,985	684,992	720,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
図書購入数	図書館の充実	冊	455	243	450	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	文部科学省の学校図書館整備計画に基づき学校図書館の蔵書等の充実を図るもの。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	蔵書の入替え・充実を図ることで児童の利用が促進できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町内の中学生は受益の機会が均等である。

平成28年度までの自己評価または改善点	平成27年3月に図書館システムをリニューアルし、蔵書管理や貸出管理などPCにより可能となった。
---------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 学校図書の購入であるため。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
平成30年度以降の方向性	特になし

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	生徒の利用促進のため、常に蔵書の充実を図っていく必要がある。
------	----------	--------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.291

平成29年6月28日作成

事業番号	409	担当課等	学校教育課								
事務事業名	部活動用品整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	部活動の充実と技術の向上を図る。				
対象	湯河原中学校生徒				
内容	部活動において使用する備品を整備し充実を図る。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト	事業費	50,100	254,020	290,000		
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費	50,100	254,020	290,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	50,100	254,020	290,000		
	財源合計	50,100	254,020	290,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	部活動の振興を通して、生徒の個性の伸長や人間性の育成を図ることができる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	毎年部活動用品の整備を行い継続した部活動支援を行うことができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	毎年部活動用品の整備を行い継続した部活動支援を行うことができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	生徒・保護者の経済的負担を抑え、機会均等な部活動を推進・充実することができる。
平成28年度までの自己評価または改善点	特になし		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	部活動用備品の購入であるため
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	部活動の推進し、充実していくため、部活動用品の整備を図っていく必要がある。
------	----------	---------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

計画的に実施すること。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成29年度事務事業評価シート

No.292

平成29年6月28日作成

事業番号	406	担当課等	学校教育課								
事務事業名	各種教育振興事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成29年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P127 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	「教育基本方針」に基づき、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を持った児童・生徒の知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成を図る。				
対象	湯河原中学校生徒				
内容	教育研究発表事業、卒業記念講演会開催事業、花いっぱい教育推進事業、特別支援級備品等整備事業、総合的学習推進事業				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(見込)		
コスト	事業費	634,644	448,445	682,000		
	人件費	常勤職員				
		非常勤職員等				
		人件費合計	0	0	0	
	総事業費	634,644	448,445	682,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	634,644	448,445	682,000		
	財源合計	634,644	448,445	682,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成27年度	平成28年度	目標値	

3 平成28年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	教育内容の充実を図るため、事業を実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	教育内容をより充実したものにできている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	教育内容をより充実したものにできている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	全生徒を対象としているため公平性がある。

平成28年度までの自己評価または改善点	総合的学習推進事業では、平成14年度より国際理解・情報・環境福祉・健康などこれまでの教科にない総合的な課題についての学習活動が行われている。
---------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	各事業費の歳出は経常費的なものであるため。
平成29年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
平成30年度以降の方向性	現状維持	

5 一次評価(平成30年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	常に時代に合った内容の、講演、研修その他の事業を実施し、児童の豊かな心を育ていく。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--